

12 月 21 日：VN 指数は停滞が続く (VN-Index +0.15%)

- VN 指数は取引流動性が乏しく、鈍い動きのまま取引を開始した。
- 銀行セクターの下落により、前場は前日終値の水準をわずかに下回って引けた。
- 後場になると買い手が増え、指数は押しあがり、市場心理は穏やかに改善した。
- 多くのセクターが大引け間際に上昇した。PNJ (+4.48%) 上昇の恩恵を受け、主に日用品・消費財セクターが相場の上昇をけん引。
- 214 銘柄が上昇、246 銘柄が下落、113 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は低迷し、前日比 15%減の 11.3 兆ドンとなった。

VN30 指数は横ばい (VN-30 +0.04%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、上昇が 10 銘柄、下落が 12 銘柄、変わらずが 8 銘柄だった。
- BID (+1.21%) が唯一 1%以上の上昇を記録した銘柄となった。
- 一方で、STB (-1.30%) と PLX (-1.16%) が最も下落した銘柄となった。

セクター・個別株の動き

- PNJ (+4.48%) は、11月に好業績を記録し上昇した。売上高は前年同期比 23%増の 3 兆 1110 億ドンとなった。また、税引後利益は前年同期比 31%増の 1990 億ドンとなった。
- SHB (-0.47%) はバクザン市とフート市に支店を開設し、事業を拡大した。この 2 都市は、2023 年の経済、政治、社会発展の面で傑出した実績を残した。例えば、バクザン市の GDP 成長率は 13.45%と最も高かった。一方、フート市は GDP 成長率が 7.45%と最も高く、上位 15 都市に入った。
- 外国人投資家は 5380 億ドンの売り越しを記録した。HPG (+0.00%) の売り越し額は 1060 億ドンと最も多かった。一方、買い越し銘柄はわずかだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。